

さ た け し ょ ざ ん ひ つ      ぐ れ ん ず  
佐竹曙山筆      紅蓮図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 佐竹曙山筆 紅蓮図 1幅
- 3 形 状 絹本着色 軸装
- 4 寸 法 縦87.0cm、横30.5cm
- 5 制 作 者 佐竹曙山
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

群生する蓮池の一情景を大胆な構図で切り取っている。画面の中央に蓮の花を配し、花托は高く上に伸びている。花や葉には陰影が施され、水面に映る茎を線描によって表現するなど、西洋の陰影法が取り入れられている。

小田野直武にも同一構図の作品があり、これを範として描いたものと考えられ、曙山が直武から蘭画を学んだことがうかがえる。直武の作品は背景に銅版画風の遠景を配しているのに対し、本作では葉の色の深みや質感を再現するための色彩表現に力点がおかれ、背景は描かれていない。

落款は、画面の左上に「曙山画」の墨署と、朱文円印「Zwaar wit」と朱文鼎印「Siozan Schildereij」の2つの蘭語印が押されている。

#### 参考

秋田市指定有形文化財（絵画）「絹本着色 紅蓮図 佐竹曙山筆」  
平成9年（1997）3月4日

